

令和4年度 秋田医学会 公開シンポジウム

開催日 : 2022年11/19(土) 13:00~16:20
開催場所 : 秋田大学医学部40周年記念講堂
Zoomウェビナー ハイブリッド開催



治験・臨床試験ってナニ？ 薬が手元に届くまで！ 2022

ナビゲーター・藤山信弘、北館明宏

13:00 - 13:05 開会挨拶

精神科学講座/臨床研究支援センター
センター長 三島和夫

13:05 - 14:30 第一部

「治験の流れとCRCの役割」

臨床研究支援センター臨床試験コーディネーター・近江谷麻由

「最新の血液がん治療と秋田大の治験紹介」

医学部 血液腎臓膠原病内科学講座 教授・高橋直人

休憩

14:35 - 16:10 第二部

「患者さんが安心して治験参加してもらうために

～同意説明時の質問を中心に～」

いわま薬局治験事業部臨床試験コーディネーター・目黒俊子

「最新の整形外科領域の治療と

秋田大の治験・臨床研究・医療機器紹介」

医学部 整形外科学講座 教授・宮腰尚久

16:10 - 16:15 閉会挨拶

血液腎臓膠原病内科学講座 / 臨床研究支援センター
副センター長 亀岡吉弘

主催：秋田大学医学部附属病院 臨床研究支援センター、秋田医学会

秋田大学医学部附属病院 臨床研究支援センター

【お問い合わせ】 e-mail: fujiyama@hos.akita-u.ac.jp

TEL:018-801-7101 (担当：藤山信弘)




こまっち

Dr.なまはげ

治験・臨床試験ってナニ？ 薬が手元に届くまで！ 2022

<p>講演1 秋田大学医学部附属病院 臨床試験コーディネーター (CRC) 薬剤師 近江谷麻由 25分(質疑応答含む)</p>	<p>● 「治験の流れとCRCの役割」</p> <p>治験では効き目や副作用を慎重に確認しながら、多くの方々のご理解とご協力を得て行われます。新しい薬が誕生するまでの流れと臨床試験コーディネーターの役割をご紹介します。</p>
<p>講演2 秋田大学医学部 血液腎膠原病内科学講座 教授 高橋直人 60分(質疑応答含む)</p>	<p>● 「最新の血液がん治療と秋田大の治験紹介」</p> <p>血液がん治療には日々たくさんの新規治療薬が登場しています。血液がん領域での新規治療薬の紹介とともに新薬が患者さんに届くまでの治験や臨床研究について紹介します。</p>
<p>講演3 いわま薬局治験事業部 臨床試験コーディネーター (CRC) 看護師 目黒俊子 25分(質疑応答含む)</p>	<p>● 「患者さんが安心して治験参加してもらうために ～同意説明時の質問を中心に～」</p> <p>治験への参加には、スタッフからの治験内容の十分な説明と患者さんのご理解の上で治験参加同意を得て行います。その際によく受ける質問をご紹介しますながら臨床試験コーディネーターが患者さんに不安なく治験に参加していただけるような取り組みをお話します。</p>
<p>講演4 秋田大学医学部 整形外科学講座 教授 宮腰尚久 60分(質疑応答含む)</p>	<p>● 「最新の整形外科領域の治療と秋田大 の治験・臨床研究・医療機器紹介」</p> <p>整形外科領域での開発中の医療機器の紹介とともに患者さんの手元に届くまでの臨床研究について紹介します。また、全国でも先駆けて実施されている秋田大学における再生医療についても紹介します。</p>

<p>申込方法</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 左のQRコードか、https://forms.gle/xxGMbSsYJoto7NR37からアクセスして、入力フォームに必要事項を入力の上送信してください。 ● 申込締切後、受講に関する案内メールをお送りします。 <p>※ 個人情報の取扱いについて：「公開講座お申し込み」フォームに記入された個人情報につきましては、本学が責任をもって管理し、公開講座に関する連絡以外には使用いたしません。</p> <p>「公開講座お申し込み」入力フォームにて、事前の質問をお受けいたします。</p> <p>※当日の質問も可能です。</p>
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画録画・録音は禁止します。 ● 申込受付後、公開講座のZoom URL 等をメールでお知らせします。 ● 公開講座のURL (及びルームID・パスワード) を第三者に教えること及びSNS 等インターネット上に掲載することは禁止します。 ● 講義中の雑音・ハウリング発生防止のため、受講者は、質疑応答等の必要な場合を除き、PC・タブレット等端末の音声入力をミュートにして聴講してください。 ● 受講中のカメラ設定はオフのまま聴講し、質疑応答等必要な場合は適宜オンにしてください。